

私は4月に袋井南小学校から袋井南中学校に来ましたが、「南中生はすごいな」と思ったことがたくさんありました。場に応じた言葉遣いや立ち振る舞い。ひたむきに、熱心に勉強や部活に取り組む真摯な姿勢。きっと1年生も同じように感じたことと思います。その1年生も立派でした。入学当初は中学校生活に戸惑ったことと思いますが、新しい環境に順応し、毎日楽しさを見つけて生活することができました。変化が激しいこれからの時代を生きていく皆さんにとって、変化に対応できる力「適応力」は大切なスキルのひとつです。

今日で72日間の1学期が終わります。1学期は南中生が躍動した学期でした。例えば、生徒の手で作り上げた南風祭体育の部。最高に盛り上がったのは、皆さん一人一人が考え、協力し、本気の姿をたくさん見せたからだと思います。磐周大会で南中の躍進が見られたのは、最後の1秒まで、ワンプレーまで全力で競技をしたり、応援をしたり、本気の姿をたくさん見せたからだと思います。その姿は「ウェルビーイングの向上」を目指す南中らしく、観ている人にもたくさんの感動を与えていました。

1学期の始業式では、「過去は変えられる」という話をしました。自分が求めている結果ではなくても、その現実を素直に受け止め、失敗を失敗で終わらせないことこそが大事。転んだあとの立ち上がり方が重要だという話でした。皆さんの中には、「目標にしていた点数がとれなかった。」「あと1点が取れずに負けた。」等、思うような結果が出ずに悔しい思いをした人もいます。でも、未来の自分に目を向け、前向きな一歩を踏み出したことで、大きなものを手にした人がたくさんいました。だから、南中生が大きく成長した1学期でもありました。

明日から始まる夏休みも、もっともっと成長できるチャンスがたくさんあります。そのチャンスを見ず見す逃したらもったいないです。そこで、チャンスをつかむためのキーワードを伝えます。チャンスという言葉のスペルは、「CHANCE」。チャンスをつかんで成長する。成長、つまり自分が変わること、チェンジすること。チェンジのスペルは、「CHANGE」。チャンスをつかんで、自分を変える。チェンジするためには、何か足りない。何が必要かということ、そう「T」です。チャンスに「T」が加わると、成長(チェンジ「CHANCE」) できるのです。この「T」こそ「トライ (TRY)」。つまり「やってみる」ことが大事なのです。夏休みだって「やってみよう」なのですね。もしかすると、やってみたら、「トラブル (TROUBLE)」が、発生してしまうかもしれません。「トラブル (TROUBLE)」だって想定内です。「トライ (TRY)」するから、「トラブル (TROUBLE)」を乗り越えるから、新しい自分に成長(チェンジ「CHANCE」) できるのです。

CHANCE ➡ TRY ➡ CHANGE

明日から始まる夏休みは、何でもできる夏休みです。誰かが悲しんだり、誰かがいやな思いをしたりしなければ、何だってできる夏休みです。ウェルビーイングを目指す南中生だったら、この意味が分かりますよね。

是非、あなただけのすてきな夏休みに、カスタマイズしてほしいと思います。